



神奈川支部報

神奈川支部報 第 7 号

発行日：2017年10月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

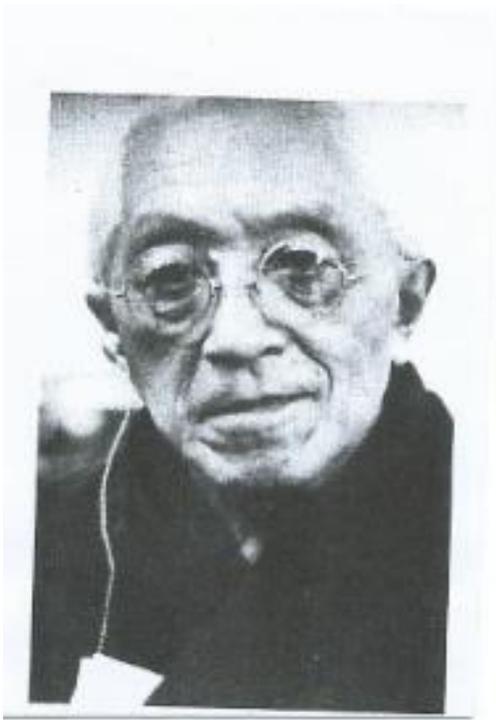
横浜市青葉区若草台 2-58 込田方

山岳会を創った“ハマの岳人たち”(4)

たかのたかぞう

高野鷹蔵 (1884~1964)

砂田定夫



初期の日本山岳会を支えた人に高野鷹蔵がいる。1905 (明治 38) 年 10 月、山岳会設立のときの発起人のひとりである。1909 (明治 42) 年 1 月から 10 年以上、自宅に山岳会の事務所を置き、会務を一手に引き受けていた。横浜市本町の生まれで、生粋の“ハマっ子”だった。家業は生糸や羽二重などの船積みを請け負う回漕業で、出入りする業者や商人の宿を兼ねており、多額納税者だったという。このような事情が高野の活動しやすい背景にあったと思われる。山岳会の母体となった日本博物学同志会に属し、自ら「蝶郎」

と号して高山蝶研究に専念しており、『蝶類名称類纂』を発行した。同じ会で植物を研究していた武田久吉が、小島鳥水の発表した「甲斐の白峰」という一文に触発され、高野と連れ立って横浜市西戸部にあった小島宅を訪問した。この出会いが山岳会創立への若いエネルギー源となり、近代登山の発展を促したことは間違いない。

設立して 4 年後の 1909 年 6 月、山岳会は日本山岳会と名称変更したが、会員証の番号が 3 番目というのも、高野が重きを置かれた証左と言えよう。武田は、「もし同君のような人がいなかったとしたら、会の発展もどうなったであろうか。高野君の功績は筆舌に尽せぬ程である」(『會報』235 号) と述懐している。会名変更の翌月には、小島や高頭式らと白峰・赤石山脈横断を実行し、この頃本格的な登山活動に没頭している。大正期の前半には写真に熱中し、写真機や乾板など一式で 20 kg 近くもあるため、専用の人夫を雇って山へ行ったという。写真の現像、焼付など自ら行い、わが国最初の山岳写真集『高山深谷』第 1 集から第 8 集を自ら編集して発行した。写真ばかりでなく、幻灯 (スライド) 作りも行っており、学校山岳部などで幻灯を利用した講演を行った。『山岳』などに登山用具に関する寄稿も多く、登山の普及活動に専念した時期もあった。

高野が日本山岳会横浜支部を立ち上げたのは 1906 (明治 39) 年であり、これが神奈川支部の前身と言えるだろう。大正期になって、支部大会、講演会など開催したりしたが、1919 年、大病 (腸チフス) を得て事務所を武田方に移した。さらに 1923 年の関東大震災で山岳関係の資料と写真の幹板など一切を焼失した。翌年、阿佐谷に移住、この頃からローラカナリヤの飼育に熱中、その専門家になった。昭和に入って有志晩餐会を発起人として復活させたりした。1931 年、山岳会

が会則改定して会長制となり、初代会長に小島が就任したとき、高野は楨有恒と共に副会長に就任し、2年間務めた。

蝶、登山、写真、小島と「凝り性」ともいえる趣味を変えながら、それぞれが一流を成した生涯だった。

◆◆◆◆山行報告◆◆◆◆

日の出山（スケッチ）山行

（準支部山行）

2017年9月3日実施

参加：5名

夏の終わりの1日。奥多摩日の出山で2回目のスケッチ山行を実施した。

御岳山までケーブルで上れば日の出山までは起伏のない道。最後の登りを耐えれば日の出山山頂。昼食を取りながら振り返る御岳の山上集落をスケッチした。下山はつるつる温泉へ。ぬるっとした温泉で汗を流し、缶ビールで乾杯、帰路に就いた。（記：長島泰博）

コースタイム：御岳山頂 9:55～11:10 日の出山 13:00～14:30 つるつる温泉

参加者：秋山、小松、長島、和田、都崎（非支部会員），



↑日の出山山頂にて

大洞山・草戸山（かながわ山岳誌P）

（支部山行）

2017年9月9日実施

参加：14名

コース全体が尾根道で標高は高くないが、アップダウンが結構あった。特に最後の草戸山から高尾山口へ下る四辻までがアップダウンが多くタフなコースであった。

歩き始めの大垂水から草戸山までは神奈川県と東京都の県境歩きであった。コンピラ山には国土地理院の地形図では三角点が記載されているが、手分けして探したが見つからなかった。その後、国土地理院の電子国土を調べたところ、三角点の記載はなく、基準点成果等閲覧サービスで一級基準点となっていることが確認できた。

榎窪山は、無線中継塔が建っていて分かりずらかったが、すぐ傍の登山道脇の標識の下に小さい木の札に記載があったので確認することができた。普通に歩いていると見落としてしまうところであった。（記：森武昭）



↑草戸山山頂にて

コースタイム：大垂水峠 9:06～9:36 大洞山 9:46～9:56 コンピラ山 10:07～10:30 中沢山 10:40～11:23 泰光寺山 11:28～12:25 榎窪山～12:50 草戸山 13:05～14:30 高尾山口駅

参加者：青木、石村、稲垣、込田、田島、鶴田、富岡、永井、葉上、廣島、舟根、森（静）、森（武）、富岡（好）（会員外）

谷川連峰・平標山（特別報告）

平成29年7月8日（土）～9日（日）実施

参加：4名

梅雨の最中、そこに台風の通過があり直前まで気を揉んだが、出発と相成った。急な募集にも関わらず集まった4名が海老名インターから圏央道を北上する。部分的に渋滞は

あったものの関越道の高崎付近からはスイスイ、青空に心もウキウキとしてくる。

月夜野インターで高速を降り17号を北上、県境である狭い三國トンネルを抜けると新潟県苗場スキー場だ。雪がない草原に聳える苗場プリンスホテルがなにか寂しい。間もなく標高954Mの平標山登山口に到着。満車の駐車場内をうろうろ、ようやく駐車スペースを見つけて出発の準備だ。

今回のコースは、一般に日帰りコースだが、あえて1泊2日でテント生活をするという趣旨。4~5人用テント一式、鍋一式、コンロ2発に寝袋などで私の70Lザックは満タンである。食料はシェフ役の直実さんが食材一式を40Lザックにフル格納、河崎さん、山増さんにも少しずつ手分けをしてもらった。

11:15、駐車場のトイレ脇より沢沿いのトレースに入る。瀬音と日差しに輝く水面が気持ち良い。山に存在する実感が湧いてくる。しかし暫く進むと岩魚沢林道に上がり味気ない路をトロトロと歩く。ゲートの処でホースより沢水が出ており各自口に含んだり顔を洗ったり。カーブを2つ過ぎると平標山の家の案内がある平元新道登山口に到着。階段の続く山路ではあるが林道歩きよりは数段楽しい。日帰り組の下りの登山者と路を何度も譲り合う。途中、何度も休みながらゆっくりと登ってゆく。

13:30、上部から人の声がするなーと思っているとひょっこりと山の家が目の前に、到着だ。実はここ、テント場が狭いことが分かっておりスペース確保を心配していた。私の古い地図にはテント指定地マークすらついていないのだ。到着早々の汗まみれだが、場所の確保に走る。先着のテントもいたが、どうにか草の上に4~5人用が張れそうだとわかり一安心。

全身汗まみれでビールを飲みたかったが、テントを張ってからにしよう。4人が各自一本ずつポールを持ち「せいのお」でICIスタードーム本体を立ち上げる。荷物整理をしながら顔を上げると、平標山から仙ノ倉山のたおやかな稜線が美しい。その稜線に抱かれる様に笹穴沢の流れが瀬音と共にわかる。あの沢は沢登りのコースね。天気も上々、早くも

満足度100%。

待望のビールを片手に午後の自由時間、山で最も好きな時間だ。山々のラインはいくら眺めても見飽きない。なぜこんなに惹き付けるのだろう。今までの山々で5本の指に入るナイスビューだ。夕飯はタンドリーチキンなど直実シェフの計らい、山の家裏側に山と対峙できるベンチがあり、そこに陣取って食当。酔いが廻っていても香辛料の香りに食欲が刺激された。いやいやスパイスにもう一種、やはりこの景色、太陽が傾いても存在感たっぷりだ。

テントに戻ったのはかなり遅くなってからだと思う。というのはこの辺りから記憶が怪しい。夜中に寒さで目覚めると寝袋も出さずに寝ていたのだ。

翌朝7:00、すっかり明るくなってから起床。「なってから・・・」でなくて、正直言うとこの時間まで起れなかっただけです。今日は半日行程なので気は楽だが、ゆとりだらけの山歩きになったのは年のせい？昨日の食当ベンチで朝食準備にかかる。テント、小屋泊まりの登山者は皆出発していてとても静か。またまた朝の絶景を我がパーティで独り占めでした。関越道のSAで調達したキュウリのマヨネーズ掛けが二日酔いのお腹にキクーツ。



↑平標山の稜線

9:00、山の家出発、整備された階段路をふらふらと登る。時差出勤？なので登山道はガラガラ。真っ直ぐ上へ、いや青空に向かって登ってゆくようだ。途中のベンチで一休みを繰返すも道脇の池塘にお花が揺れる。6月が花のメインシーズンだと聞いていたが、1ヶ月後にもまだまだお花が咲いている。こんな小

さな花卉を必死に広げている。心打たれるはずだよ。アルコールの残った身体はとてもセンチメンタル。

10:30、平標山頂到着。後から到着したメンバー3人と握手。吹き渡る風に赤とんぼが舞っている。多くの人が山頂の一時を楽しんでいる。ここから東に延びる仙ノ倉山への稜線は正に雲上の散歩路だが、出発も遅かったので今回はピストンを見送った。また、きっと、来よう。北に目を転ずれば土樽へ下る平標新道が伸び、若き日にラッセルトレーニングに通ったタカマタギや棒立山方面が見えた。記念撮影の後、西に下山開始。

常に山頂を背後にお花の路を下ってゆく。メンバーの皆さんも写真を撮りながらの下りだ。シャクナゲはよく見ると、真白い花のもの、多少ピンクがかかった花のものがあるどちらも好きだ。確実に高度は落しており、振り返るために山頂は遠くなってゆく。一部分登り路になったと思うと松手山頂に着く。ここからは樹林帯に入るため、平標山頂は見納めだ。低温サウナのように汗が流れ落ちる下り。下山後の冷たい飲み物と温泉を楽しみにひたすら下った。(記：大槻利行)



↑平標山山頂にて

参加者：CL 大槻利行、河崎佳明、山増智恵子、峠原直実(非支部会員)

コースタイム：7/8 平標山登山口 11:15⇒平標山の家 13:40 7/9 平標山の家 9:00⇒10:15 平標山 10:30⇒13:30 平標山登山口

山行計画の中止

以下の山行は中止となりました。

9月 23～24日 御正体山・菰釣山

10月 14～15日 北八ヶ岳

われら神奈川支部

支部会員リレー紹介

日本百高山登頂達成

田中弘士

私の登山に対する信念は「安全で楽しく、他人に迷惑をかけない」事である。

日々のトレーニングの重要性を心に決めて、地域に密着した登山活動、人間関係、健康管理等を重視、活動をしている。常に妻の理解が重要です。

中学1年生(昭和27年)初めて奥多摩御岳山にハイキングに参加しました。テント場まで川に沿った林道をランタンを頼りに進みました。星空の輝き、空気のおいしさ木葉や川のせせらぎの音等、忘れられない思い出です。そして熱中して登山活動を重ね気づくとなんと79歳を過ぎていました。

現在、目標として、朝夕40～50分の散歩を楽しみ、毎週1回近隣の登山に興味のある方と行動を共にしています。また、山の会、百名山クラブの方と毎月1～2回の登山を健康維持のため楽しんでます。

夢の実現として100～300名山を踏破し、さらに400～600名山登頂し、岳会にも発表(山と溪谷社)。都道府県最高峰、神奈川県百名山、山梨県の主な山登頂、国内に18000ある山のうち2700山登頂。また、100～300名山の全山行を4冊の本にまとめて自費出版しました。

世界の山は(9か国、マッターホルン、モンブラン、メンヒ、ユングフラウ、レーニア、玉山等)。日本の山では一ノ倉沢、チンネ、滝谷、北岳バットレスの7主なルート、東西丹沢の主なルートを結婚前の30才までに登攀しました。

思い返せば、63年間、世間を騒がす事故はなく、幸いであった。主な病気は21歳で痔瘻、60才で両足半月板損傷切断手術、78才腫内視鏡による手術。主な登山に関する資格として全日本スキー連盟2級、日本体育協会山岳部門上級指導員。次なる目標として花の百名山14座の登頂、および自ら立ち上げたみろく山の会百名山グループの同行、ア

ドバイス。安全で楽しい登山の実施、「現役」を貫きたいと念願しています。

役員会報告

7月役員会

日時：7月20日（木）19：00

場所：神奈川工科大学 横浜事務所

報告事項

- ・会員の異動
- ・山行報告
鷲尾山・八菅神社（6/10）山岳誌 L，支部山行
経ヶ岳・仏果山（6/24）山岳誌 H，準支部山行
- ・支部報（第6号）の発行等について

審議事項

1. 南関東支部ブロック3支部合同山行について
2. 山行計画
(ア) 南高尾（9/9）山岳誌 L，支部山行
(イ) 関本（9/23）山岳誌 H，準支部山行
(ウ) 菰釣山・御正体山（9/23-24）準支部山行
3. 団体保険について

9月役員会

日時：9月21日（木）19：00

場所：神奈川工科大学 横浜事務所

報告事項

- ・会員の異動について
- ・山行報告
南高尾（9/9）山岳誌 L，支部山行
- ・実務者のための支部情報交換・交流会（7/8）
- ・第1回山行報告会（9/2）
- ・団体保険の加入について
- ・その他
支部合同会議アンケートの回答について

議題

1. 南関東支部ブロック3部合同山行（10/28～29）
2. 山行計画
箱根明神ヶ岳（9/23）山岳誌 H，準支部

山行

鍋割山（10/7）山岳誌 L，支部山行
日影山（10/21）山岳誌 H，準支部山行
八ヶ岳縦走（10/14-15）準支部山行
妙高赤倉スキー・スノボ山行（3/10-11）
準支部山行

3. 静岡支部との交流会（11/18～19）

4. その他

山行報告会（山行委員会主催）

日時：9月2日（土）16時～18時

内容

- 込田支部長挨拶
- 井村山行委員長挨拶、アンケート中間報告
- 山行報告をスライドにより実施
12分野13題を報告

①神奈川山行プロジェクト：森
②縦走登山（徳本峠と雲の平）：大槻（代：植木）

③縦走登山（静岡支部との合同山行）
廣岡（代：植木）

④藪山山行 永井（代：田島）

⑤プチ・バリエーション山行（西上州）
植木

⑥講習会（レスキュー・救急法）早川

⑦海外登山（ネパールヒマラヤ）星（代：植木）

⑦海外登山（チロル地方）森

⑧フリークライミング 植木会員

⑨沢山行 中山（代：植木）

⑩バックカントリースキー 五十幡

⑪雪山（空木岳、八ヶ岳）植木

○フリートーキング・山行に対する提言
・報告だけでなくこれからの山行の紹介も欲しかった。

・多くの社会人山岳会のように活発な山行、難度の高い山行、長期の山行もやりたい。

・支部会員には高齢の者も多く、長期山行や重い荷物、テント泊など実際にはできない

・通常の山行は他の仲間や山岳会で間に合っている。JAC でなければできないものに参加したい。

・JAC が初めての山岳会の方もいる。

その方たちに学びと実践の場を提供したい。

・今回の報告会では現有戦力で何が出来るかを会員に提示した。

・他の山岳会と異なり複数の山岳会在籍ができ、実際の山行は他会で行う人も多い

・他の山岳会と異なり各会員の情報が役員でさえも把握できていない。難度の高い山行が組めない。

参加 16 名 五十幡、稲垣、井村、植木、大家、落合、込田、砂田、田島、鶴田、富岡、葉上、早川、廣岡、廣島、森（五十音順）

今後の予定

準支部山行

鍋割山 かながわ山岳誌 P/L レベル

日 時：10 月 7 日（土）

コース：渋沢駅＝県民の森－二俣－後沢乗越－鍋割山(175)－小丸(84)－大丸(42)－金冷シ－花立ノ頭(193)－堀山(232)－雨乞岳(8)－大倉＝渋沢

集 合：10/7 7 時 30 分 渋沢駅

概 略：コースを見直し、当初の櫛山・栗ノ木洞を外しました。このため、集合場所が「新松田」から変更になっています。今回、鍋割山荘での「鍋焼きうどん」は、時間の都合上なしとします。雨乞岳へのルートは、短いですが、バリエーションルートになります。支部会員のみ参加可能。
歩程約 6 時間。

担 当：永井泰樹

taiju.forever@kmj.biglobe.ne.jp

TEL090-4129-2033

締切り：10 月 6 日（タクシー手配のため）

準支部山行

日影山 かながわ山岳誌 P/H レベル

日 時：10 月 21 日（土）

コース：新松田駅＝丹沢湖－秦野峠分岐点－日影山(199)－ブツツェ峠－旧秦野峠(189)－ダルマ沢ノ頭(154)－タケ山(150)－シダンゴ山(94)－寄＝新松田駅

集 合：10/21 7 時 20 分 新松田駅

概 略：秦野峠分岐点～旧秦野峠間は、バリエーションルートです。支部会員のみ参加可能。
歩程約 6 時間。

担 当：永井泰樹

taiju.forever@kmj.biglobe.ne.jp

TEL090-4129-2033

準支部山行

箱根鷹巣山・浅間山（湯坂道）

日 時：11 月 11 日（土）

コース：湯本駅＝湯坂道入口－鷹巣山－浅間山－湯坂山－湯本駅

集 合：11/11 9 時 30 分 箱根湯本駅

概 略：鎌倉時代の箱根越えの古道である湯坂道にある 3 つの山を踏査します。下り中心のコースで紅葉と下山後の温泉が楽しめると思います。L レベル山行のため非会員の方も参加できます。
歩程約 3 時間。

担 当：長島泰博

y-naga.0128.k59@kxe.biglobe.ne.jp

TEL090-5554-8345

支部山行

静岡支部懇親山行（富士腰切塚）

日 時：11 月 18（土）～19 日（日）

コース：横浜＝水切塚駐車場－腰切塚－駐車場－浅黄塚－西白塚＝富嶽温泉（泊）＝田貫湖－長者が岳－天子が岳－駐車場＝横浜

集 合：11/18 11 時 30 分 水切塚駐車場

概 略：静岡支部との交流山行。富士山の側火山 3 座と天子山塊の長者が岳、天子が岳に登ります。宿泊は前提ですが、山行はどちらか 1 日のみ、もしくは宿泊のみの参加も可能。
歩程約 時間。

参加費：12,100 円

担 当：広岡正敏

masabonn123@yahoo.co.jp

締切り：10 月 18 日

準支部山行

赤倉スキー・スノボ山行

日 時：2018年3月10日(土)～11日(日)
場 所：妙高赤倉スキー場
概 略：2回目のスキー・スノボ山行です。
経験者・愛好者だけでなく、両方とも初めての会員も、またスノーシューで雪原を楽しみたい方も大歓迎です。

締切り：10月31日(仮申し込みでも可)
集 合：3月10日(土)午前8時 現地ホテル
宿泊先：赤倉ユアーズイン(小笠原代表)
新潟県妙高市田切 219-70
Tel 0255-87-2427
担 当：富岡一郎
ichiro.tomi@nta.pial.jp
045-701-2003

役員会

10月19日(木) 19時～
11月16日(木) 19時～
12月21日(木) 19時～
1月18日(木) 19時～

場所はすべて神奈川県横浜事務所
(横浜駅東口ウィスパートビル 10F)
※カモシカスポーツのビルです。

忘年会と山行委員会同時開催

今年も支部の活動に沢山のご協力をいただきありがとうございます

ございました。今年一年の感謝を込めて神奈川県支部忘年会を開催いたします。併せて山行委員会の山行報告・山行計画会も行います。スライドで今年の山行の振り返りや来年の山行の紹介をいたしますのでぜひご覧いただきたいです。貴方のやりたいこと、是非お聞かせください。詳細は改めてご案内します。まずは日時のご案内です。

日 時：平成29年12月16日(土)
15時頃～
山行報告・計画会
場 所：神奈川県横浜事務所
(横浜駅東口ウィスパートビル 10F)
※カモシカスポーツのビルです。
18時頃～
神奈川県支部忘年会(横浜駅東口、報告・計画会の会場近く)
担 当：植木貞一郎
tueki@tj9.so-net.ne.jp
045-365-3299

支部会員動静

退会
なし
転籍
15386 瀬沼信一
加入
14620 森静子
11341 高橋てる子
11925 亀崎昇
16223 相澤明德

あとがき

今年の夏も天候不順で大変でした。皆様の山行はいかがでしたか。私はお盆の岳沢合宿が現地での天候判断で中止となってしまいました。でも現地まで足を運んだおかげでその後に青空に映える槍ヶ岳や満天の星空というご褒美をもらえました。最近では便利になりまして様々な種類の天気予報もネットで簡単に手に入れることができます。安全のための情報が増えるのは良いことだと思います。しかし逆に悪天予想のために簡単に中止になってしまう山行が多くなっているような気がします。天気予報は結構当たらないもので実際に山に行ってみると天気は良好、山はガラガラということもままあります。情報に踊らされることなく自らの目で見て判断すること、たとえ現地でも中止となってもそれを楽しむ余裕を持つことを心がけたいと思います。では、秋の山でお逢いしましょう。(貞)

発 行：日本山岳会神奈川県支部 支部長：込田伸夫
編集者：植木貞一郎、多田友行、長島泰博

平成29年10月1日

次回は1月1日発行予定